



Title	堺市における行政栄養士の人材育成について
Author(s)	岩田, 郁子
Citation	大阪公衆衛生. 2016, 87, p. 14-15
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/78639
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

堺市における行政栄養士の人材育成について

岩田 郁子

堺市健康福祉局健康部 健康医療推進課

1. はじめに

堺市は大阪府の中南部に位置し、面積149.81平方キロメートル、人口約84万人を有する堺区、中区、南区、西区、北区、美原区、東区の7つの区から成り立つ政令指定都市です。

2. 堺市行政栄養士の体制について

本市健康部・保健センターの行政栄養士は、本庁健康医療推進課、各区役所保健センター（8か所）に配置されており、健康づくり及び栄養・食生活の改善に取り組んでいます。

健康医療推進課の栄養士は、本市の栄養・健康づくりの企画、調整、「健康さかい21（第2次）」「堺市食育推進計画（第2次）」等の計画策定、特定給食施設指導、国民健康・栄養調査業務、外食栄養成分表示事業、食品表示法の保健事項に関する指導・相談等の業務を担っています。

また、母子保健事業、介護予防事業等の栄養に関する企画調整を担っており、本庁の各担当課の業務も兼務しています。

各区保健センターの栄養士は、栄養改善・食育推進・健康づくり、成人保健、母子保健、介護予防事業における栄養関係対人保健サービスに関する業務を担っています。また、特定給食施設指導、国民健康・栄養調査業務等を行っています。

栄養士の年齢構成は現在20代が半数以上を占めている状況です。

3. 研修体制の現状

本市では、堺市人材育成基本方針に基づいて、行政能力の向上に資する人材育成を行っています。

また、公衆衛生専門職に従事する栄養士として新任期や中堅期以降に求められる専門能力を身につけられるよう、公益社団法人日本栄養士会や国立保健医療科学院等が開催する研修会に順に派遣を行っています。

今のところ、新規採用者・他部局からの異動者は、複数配置の保健センター・本庁課へ配属され、職場にてOJTを行い、また、定期的な栄養士業務調整会議では、情報交換・相談を行える体制をとっ

ています。さらに、食育推進、母子保健業務・成人保健業務等、業務ごとの担当者会議を開催しており、新任期栄養士が、同じ所属の栄養士以外にも指導・支援を受けられる体制を整えています。

日常業務においては医師、保健師、歯科衛生士、精神保健福祉士、事務職等のサポートを得ながら、他職種と連携し業務を行う中で公衆衛生の視点、公衆衛生専門職の役割を学んでいます。

4. 「健康づくりのための食育指針」を用いたOJT

本市では平成19年3月に堺市食育推進計画を策定し、計画を実行性のあるものとするという思いで、平成20年度に業務指針として堺市健康部発行の「健康づくりのための食育推進指針」を作成しました。医師、保健師、歯科衛生士、事務職を含むメンバーによる「健康づくりのための食育推進指針作成会議」を開催し、他職種等の意見も反映しながら、管理栄養士の役割や方向性を明確にしました。業務別に目的、現状と課題、計画と目標値、取り組むべき施策と方向性を検討したことで、同じ目的に向かって行動する姿勢を養うことができました。この作業が現在の業務別担当者会議につながっています。

また、作成当時、数年後には新任期の栄養士が増えることが予想されました。教育委員会や子育て支援部（当時は保育部）等の他部局との人事交流もこの頃始まりました。今までは、公衆衛生業務の経験年数の長い栄養士と、経験年数の短い栄養士が組むことで日常業務について学べる体制をとってきましたが、新任期の栄養士や他部局から異動者が増えると、そのような体制をとることが難しくなることが考えられました。そのような中で、各業務の目的とめざすべき業務のあり方を栄養士全員で確認し業務指針の作成が必要であるという声があがり、業務指針を用いたOJTが、当時の本庁、健康増進課の栄養士を中心に始まり、現在は、業務指針を用いて人材育成を行っています。

5. 他職種の研修への参加

本市保健師は「堺市保健師育成マニュアル」を

作成し、新任期から中堅期へと体系的に研修体制を整えています。その中の「事業評価研修」や「地域保健情報化処理研修」等は、保健師以外の職種にも対象を広げて実施しています。

健康課題の解決に向けて、複数の専門職が連携し、組織として解決する視点が必要であると考えています。今後は専門職が協力し行政保健専門職の横断的な人材育成指針の作成を検討しております。

6. まとめ

現在、新任期の栄養士が増え、業務指針「健康づくりのため食育指針」が人材育成等に役立っており、先輩栄養士の方々に感謝しています。

業務指針を作成したことで、栄養士業務のより深い理解とアイデンティティの確立にもつながったと考えています。

今後も堺市食育推進計画の策定にあわせて業務指針を改定し、その時々ニーズにあった人材育成に取り組んでいきたいと考えています。

大人って、脂肪がたまりやすい。

脂肪を燃やす、カラダへ。



トクホのヘルシア



体脂肪が気になる方に
脂肪を消費しやすくする

年に1回は人間ドックを受けましょう。

日本人間ドック健診協会
推薦®

関与成分の詳しい資料をお送りします。FAXまたはEメールでお申送ください。

請求先：花王株式会社ヘルスケア食品研究所

〒131-8501 東京都墨田区文花 2-1-3

TEL: 03(5630)7267 FAX: 03(5630)7260

E-mail: healthcare@kao.co.jp <http://www.kao.co.jp/rd/eiyo/>

